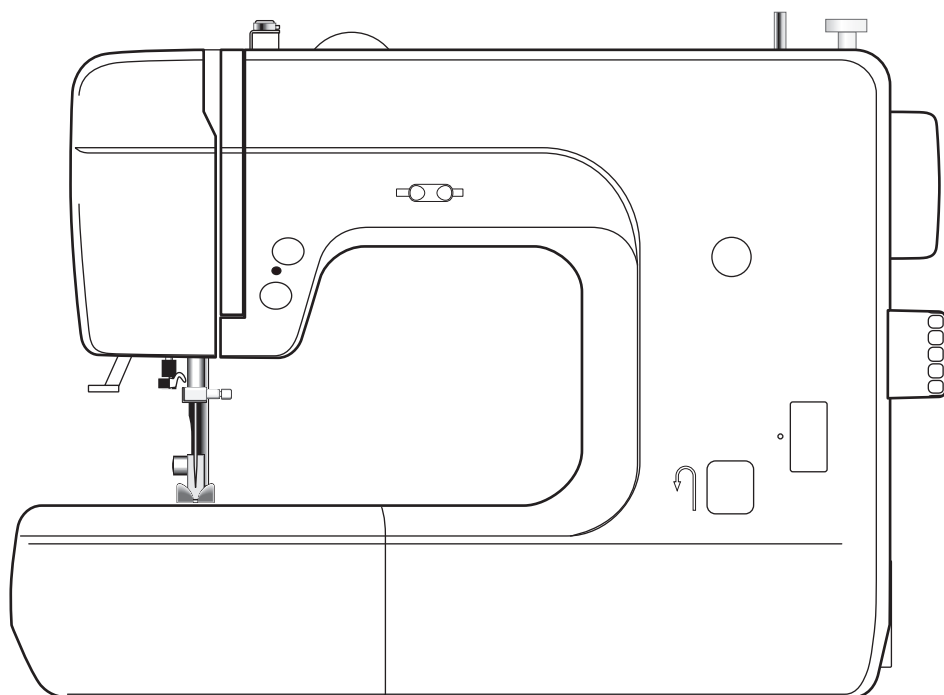


使用の手びき

型式：QT-7



お買い上げいただきありがとうございます。

SINGER®



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らなければ、火災や人身事故になる場合がございます。
この「使用の手びき」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。
この「使用の手びき」をよくお読みのうえ、この製品を安全にご使用ください。

また、お読みになった後はいつでも見る事が出来るように、必ず保管してください。

お使いになる前にお読みください

安全にお使いいただくために	2
取り扱いのお願い	3
付属品	4
補助テーブル	4
各部の名まえ	5
各部の働き	6

操作の仕かた

電源を入れる前に	6
押え	7
電源を入れる	8
ボビンの取り出しかた	8

縫う前の準備

下糸の巻きかた	9
下糸のセット	10
上糸の掛けかた	11
針穴糸通し器	13
下糸の引き上げかた	14
模様選択	14

縫ってみる <基本編>

直線縫い	15
糸調子の合わせかた	16
返し縫い	16
厚地を縫う	17
縫い方向を変える	17

縫ってみる <応用編>

ジグザグ縫い	17
ゴムテープ付け	18
パッチワーク	19
まつり縫い（ブラインドステッチ）	19
強化縫い	20
ボタンホール縫い	20
針、糸、生地の関係	22

お手入れ

正しい針の選びかた	23
針の取り替えかた	23
ランプ交換	24
底ゴムの高さ調節	24
ボビンケースのそうじ	25

その他

困ったときは…	26
サービス工場のご案内	27
修理サービス要領	28
お問い合わせまたはご相談先	28
仕様	28
別売品	29
保証書	終

安全にお使いいただくために

ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この使用の手びきおよび商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

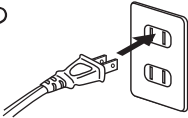
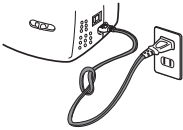
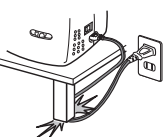
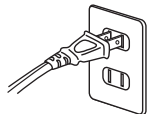
- このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only. 国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証は出来ません。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
- 使用の手びきの内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 使用の手びきの内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。
---	---	---	--

この「使用の手びき」で使用している絵文字の意味は次のとおりです

危険性を促す記号			行為を「禁止」する記号		行為を「指示」する記号
					 
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります	禁止	分解禁止	必ずすること 電源プラグを抜く

 注意		   ケガや財産に損害が生じる恐れがあります。	
 	- ミシンを不安定な場所に置かないでください。 - ミシンの動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。 - 曲った針は使わないでください。 針が折れ、ケガの原因になります。 - すべり板を開けたままミシンを操作しないでください。 - 縫製中に生地を無理に引っばったり押ししたりしないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。	 	- 電源コードは巻き付けないでください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。 - 濡れた手で電源コードプラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
	- 火の気のあるもののそばでは使用しないでください。 (火の消えていないタバコ、ロウソクなど) 火災の原因になります。 - ミシン本体の換気口に手を近付けないでください。 ヤケドなど、ケガの原因になります。 - ミシン本体の換気口をふさがないでください。 換気口は、必ず壁から30cm以上離してご使用ください。 また、換気口に糸くずやホコリが溜まらないようにしてください。 火災の原因になります。 - スプレー製品などをご使用の部屋では、使用しないでください。 スプレーへの引火によるヤケド・火災の原因になります。 - 付属の電源コードはこのミシン専用です。他の電気用品には使用しないでください。	 	- 幼児の手が届かない場所に保管してください。 針や押えなどの突起でケガの原因になる恐れがあります。 - 糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを『OFF』にしてください。 作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。
 	ミシンを使用しないときやミシンから離れたり使用を中断するときは電源コードプラグを抜いてください。 絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になる恐れがあります。		- ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。 - 交換した針を放置しないでください。 - お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。 針、押え、アタッチメントを交換するときは、電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。 - 屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。 部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。 - ミシン本体は必ず手持ちハンドルを持って持ち運びをしてください。 他の部分を持つとこわれたり、滑って落としケガの原因になります。 - ミシン本体は6.6kgあります。ミシン本体を持ち運ぶ際は、急激・不用意な動作をしないでください。 ケガの原因になります。 - 電源コードを引き抜くときは電源コードプラグを持って抜き差ししてください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。

 警告		  死亡、火災、感電の恐れがあります。
   火災・感電の原因となります。	一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。 AC100V 50/60Hz 	 ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 
	電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。 * 電源コードが断線します。 	 発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 
	傷付いたり、溶けて線がむき出しになったコードを使わないでください。 * コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正部品をお買い求めください。 	 落としたり正常に作動しないときは電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 
	電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。 	電源コードプラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 
	延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。 	ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。 

取り扱いのお願い

長くお使い頂くため、次のことを守ってください。

縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

 注意	  ケガやミシンの故障が発生する恐れがあります。
---	--

- 使用後は、上糸を外す
 収納の際に掛けていた糸が外れている場合があります。そのまま縫い進めると故障の原因になります。
- 曲がった針を使わない
 曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。
 ・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをする恐れがあります。 ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。
- このミシンで縫えないもの
 つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。
 ・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた生地、粗い網(漁網など) ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい生地、厚さ6mm以上の生地
- 保管時の結露(つゆつき)について
 寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。結露がなくなるまで、電源コードプラグをコンセント(家庭用電源)に接続しないでください。そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。
- 直射日光・熱気をさける
 直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。
- 糸絡みのとき、糸・生地を引っばらない
 針や部品の破損します。
- ミシン表面のお手入れ
 プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。
 * ベンジン・シンナー・ワックス・化学雑巾などで拭かないでください。
- 使用の手びきで指定された以外の分解・改造はしない
 ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。
- 長期間ご使用にならないとき
 長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

付属品

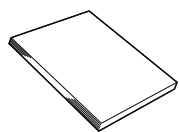
* 必ず専用の付属品をご使用ください。



注意



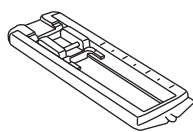
・付属品でお子様がケガをする恐れがあります。
保管には充分ご注意ください。



使用の手びき（本書）



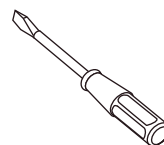
ソフトカバー



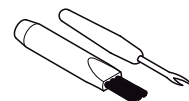
ボタンホール押え



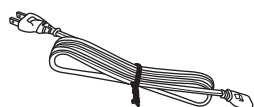
針板ドライバー



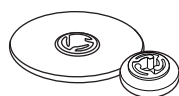
ドライバー



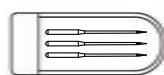
リッパー
（ブラシキャップ付）



電源コード



糸こま押え
（大・小各 1 個）



家庭用ミシン針 4 本（#14）
（内 1 本はミシン本体に装備）

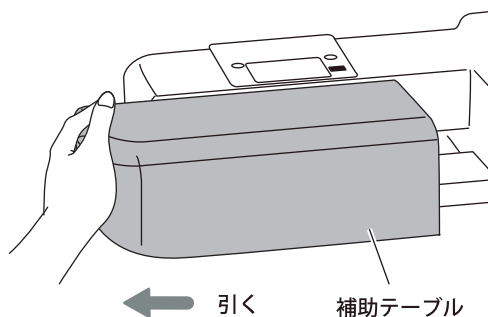


ボビン 4 個
（内 1 個はミシン本体に装備）

* 水平釜用
プラスチックボビン
（高さ：11.5 mm × 直径：20.5 mm）

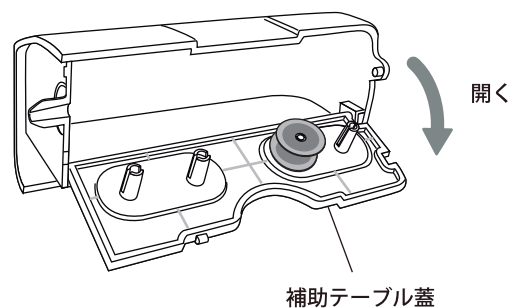
補助テーブル

● 外しかた



『補助テーブル』を左に引いて外します。

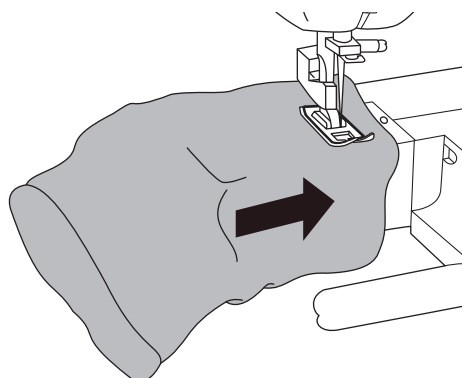
● 付属品の出し入れ



『補助テーブル蓋』を手前に開くと、付属品の出し入れが出来ます。

* 図の様にボビンを収納出来ます。

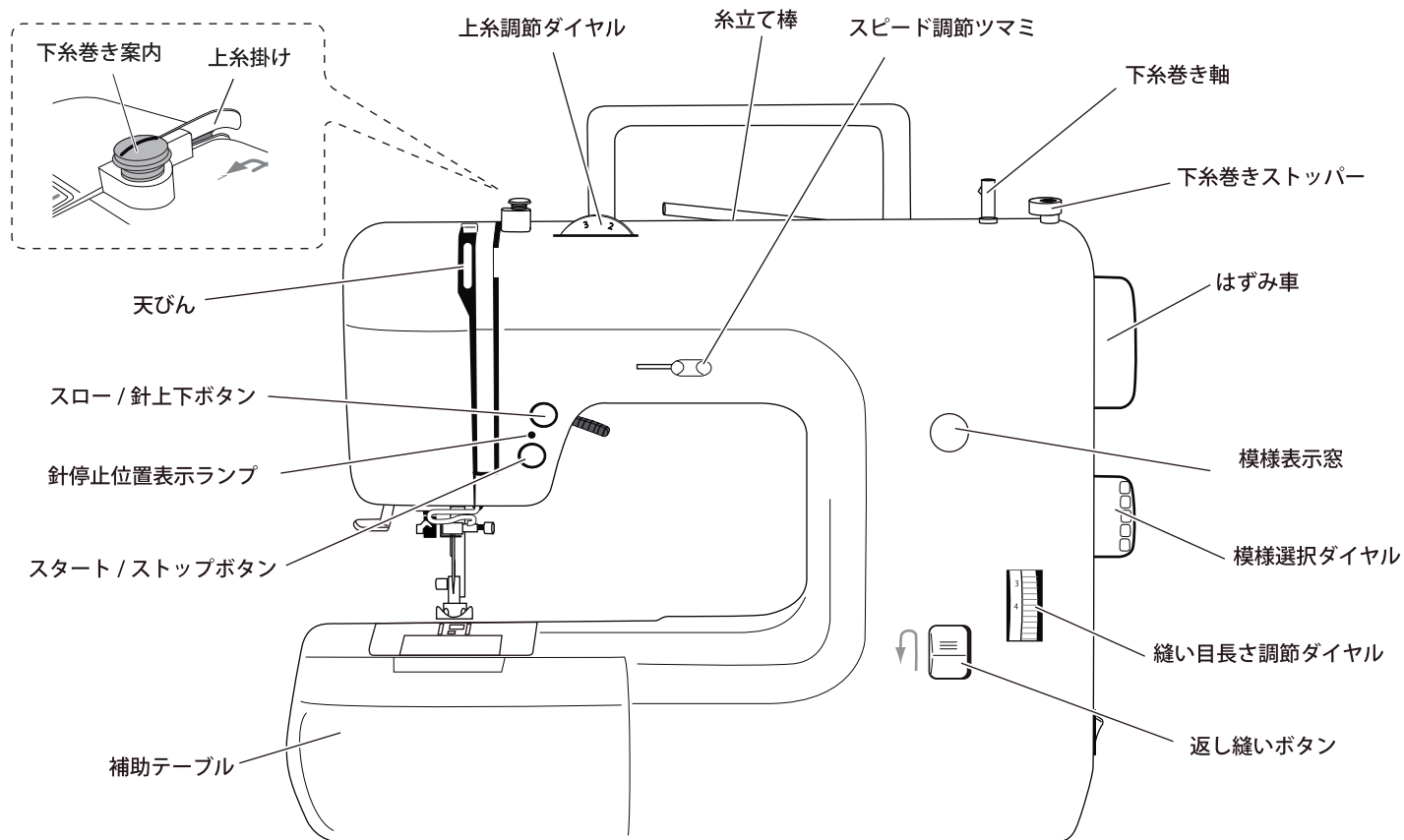
● フリーアーム



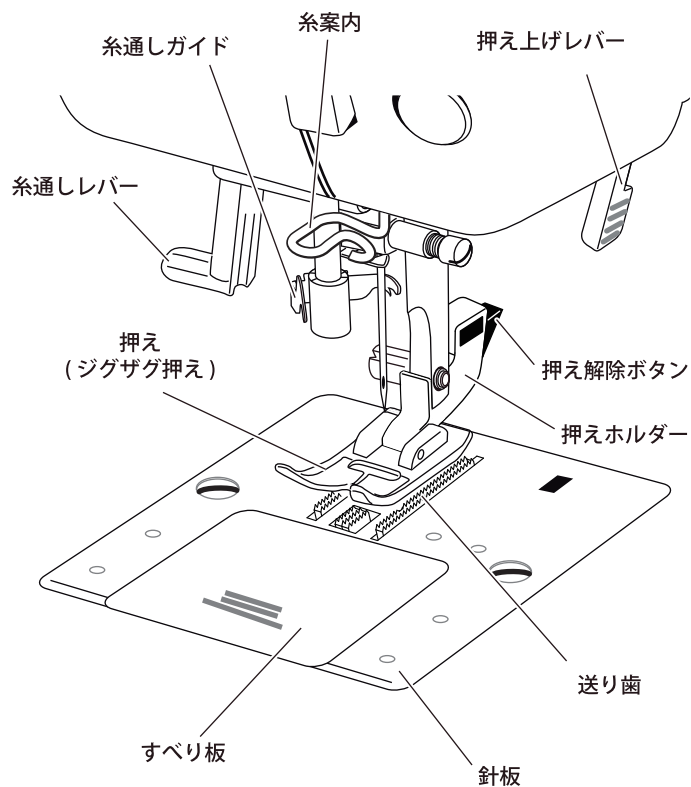
袖付け、ズボンの裾上げなど筒形のものを縫う際は、『補助テーブル』を外し、『フリーアーム』として使います。

各部の名まえ

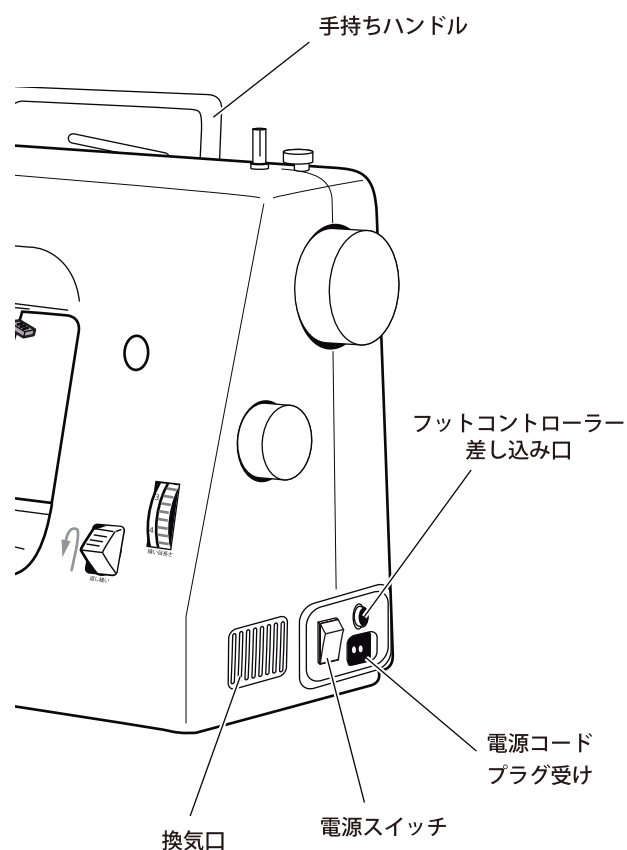
● 本体



● 針周辺



● その他



各部の働き

● 上糸調節ダイヤル

上糸調節ダイヤルを回し上糸の調子を調節します。
数字が大きくなるほど、糸が強く締まります。

● スピード調節ツマミ

ミシンの速度を『ゆっくり』から
『はやい』までお好みに調節出来ます。

● スロー / 針上下ボタン

縫いの途中で『スロー / 針上下ボタン』を
押し続けると、縫うスピードがゆっくりにな
り離すと止まります。
止まっている際『スロー / 針上下ボタン』を
一度押すと針の停止位置が針上から針下へ、
また針下から針上へと切り替わります。

● 針停止位置表示ランプ

針が下停止の際点灯します。

● スタート / ストップボタン

電源を『ON』の状態にしボタンを押すと
ミシンが動き始めます。もう一度押すと
ミシンが止まります。

● 返し縫いボタン

返し縫いの際に使用します。ボタンを
下に押し続けている間は返し縫いになります。

● 縫い目長さ調節ダイヤル

生地厚さや種類によって縫い目長さを
調節します。止め縫いを行う際は
縫い目長さ調節ダイヤルを『0』に合わせます。

● 模様選択ダイヤル

16 パターンの模様が選択出来ます。
選択された模様は模様表示窓に表示されます。

電源を入れる前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。



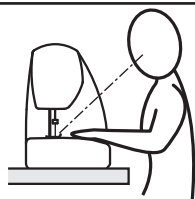
注意



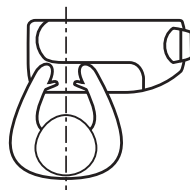
- ・安定した場所に設置する。
- ・作業スペースを十分に確保する。
- ・周囲に物を置かない。

はずみ車や針など動く部分が露出しています。ケガの原因になります。

● ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置に
ミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が
一致するようにミシンを
設置してください。

1 収納の際、本体に糸が掛かっている場合は糸を外す。

収納の際に掛けていた糸が外れる場合があります。
そのまま縫い進めると、故障の原因になります。

2 『はずみ車』を手で回してみる。

ミシンが正常に動くかを確認します。
針が曲がっていると、ボビンケースや針板に
針が当り、折れたり傷を付ける場合があります。



注意



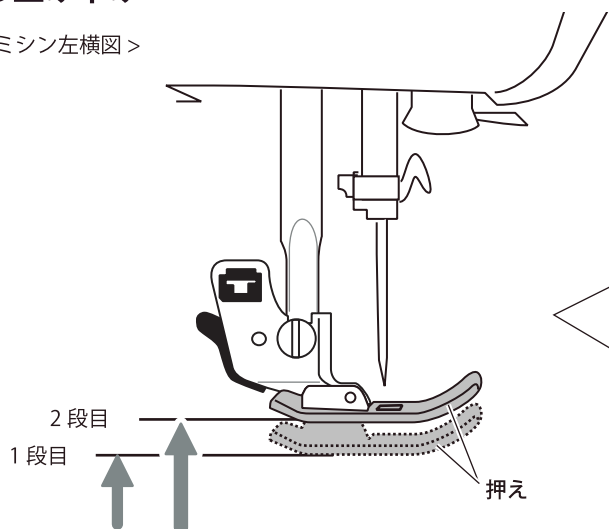
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかガをする恐れがあります。



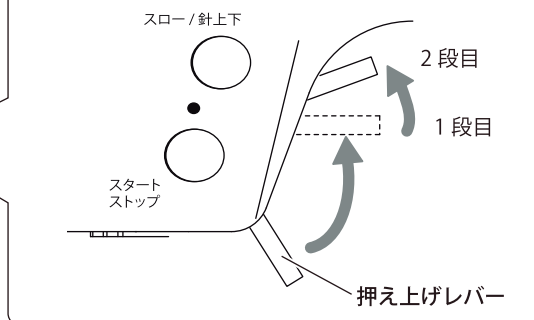
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

● 押えの上げ下げ

< ミシン左横図 >



< ミシン正面図 >



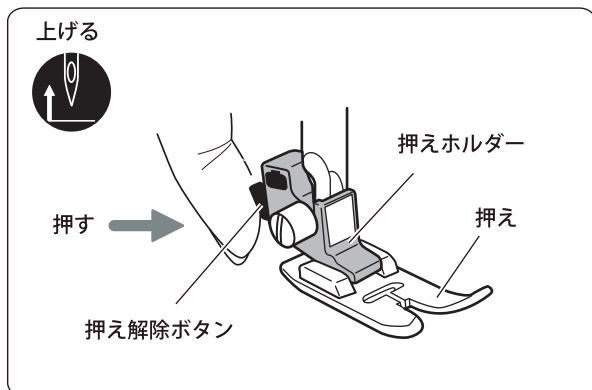
『押え上げレバー』を上げると、『押え』が上がります。

更に『押え上げレバー』を上げると『押え』が上がる2段階式になっています。

*2段階では固定が出来ません。

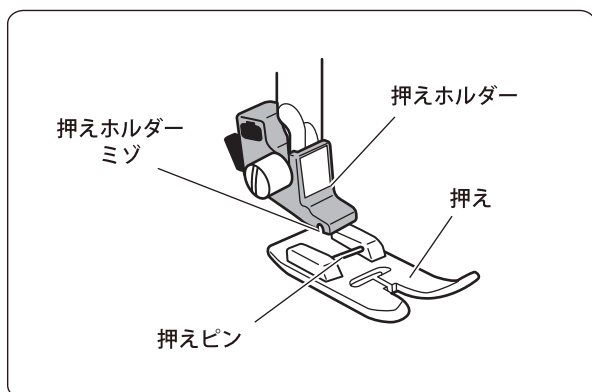
*生地のはきは1段階の高さを超えないようにしてください。

● 押えの外しかた



- 1 『はずみ車』を回し、針を最上位にします。
- 2 『押え上げレバー』を上げます。
- 3 『押え解除ボタン』を押すと、『押え』が外れます。

● 押えの取り付けかた



- 1 『押え上げレバー』を上げます。
- 2 『押えピン』を『押えホルダーミツ』の真下に置きます。
- 3 『押え上げレバー』をゆっくり下げ、『押えピン』と『押えホルダーミツ』を合わせます。

*『押え』がすぐに外れる場合は、『押えピン』と『押えホルダーミツ』が合っていません。
もう一度『押え』の位置を確認してください。

電源を入れる



注意



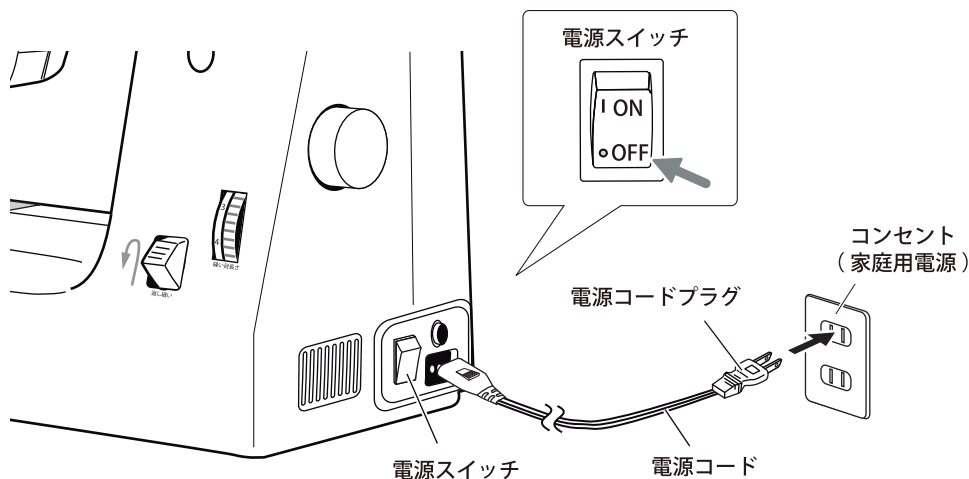
- ・電源スイッチを『OFF』にする。突然動くとケガをする恐れがあります。
- ・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。



警告



- ・電源コードはプラグ部分を持って抜き差しする。コードを引っ張ると、電源コード部分が破損し、死亡、火災、感電、機器故障の原因になります。



- 1 『電源スイッチ』を『OFF』にします。
- 2 『電源コード』をマシンに差し込み、コンセント（家庭用電源）に『電源コードプラグ』を差し込みます。
- 3 『電源スイッチ』を『ON』にします。（手元ランプがつかます。）
- 4 『スタート/ストップボタン』を押すとマシンが動き始めます。
- 5 もう一度『スタート/ストップボタン』を押すとマシンが止まります。

<マシン正面図>

スロー/針上下

スタート
ストップ

ボビンの取り出しかた



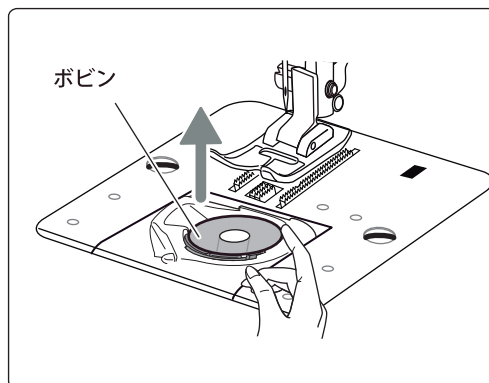
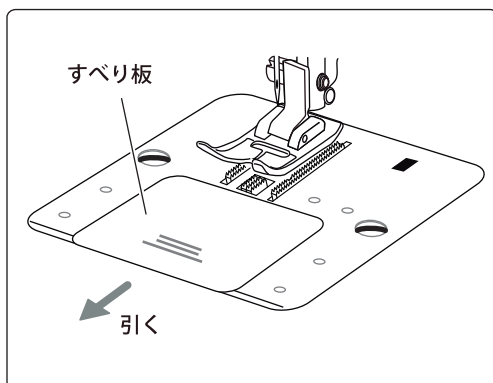
注意



- ・電源スイッチを『OFF』にする。突然動くとケガをする恐れがあります。



- ・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。



- 1 『すべり板』を手前に引いて開きます。

- 2 『ボビン』を取り出します。

下糸の巻きかた



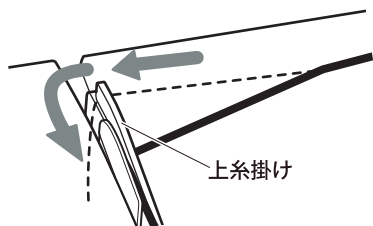
注意



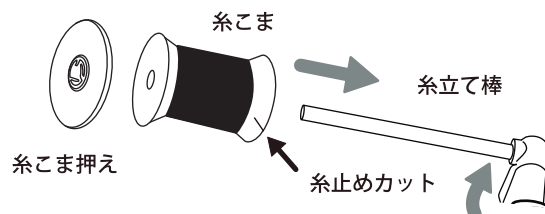
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



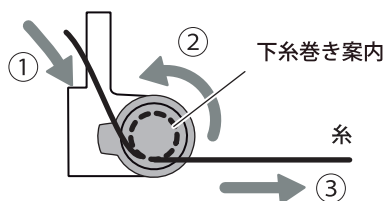
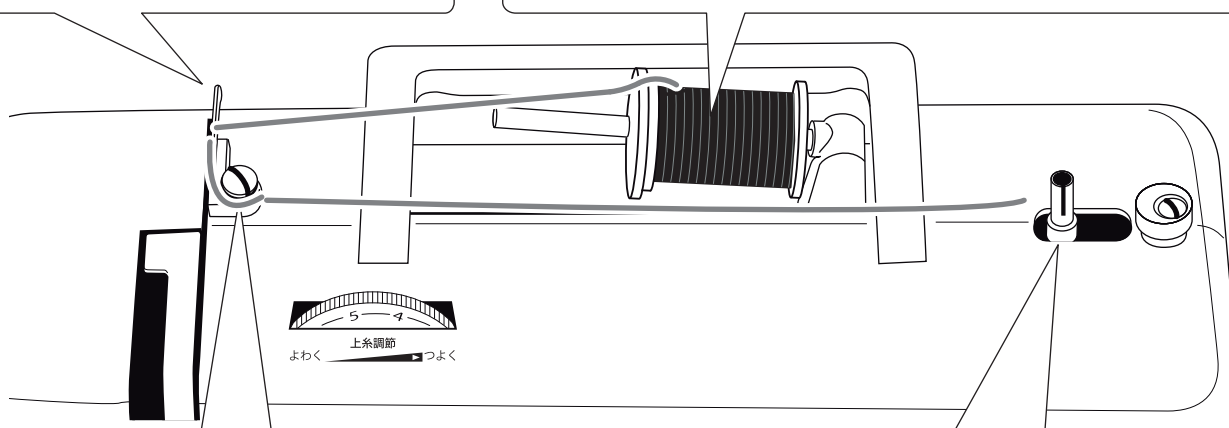
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



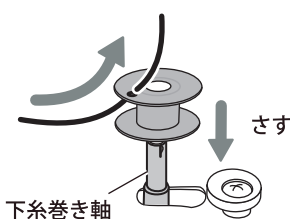
2 『上糸掛け』に糸を掛けます。



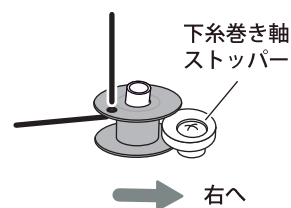
1 『糸立て棒』を少し上へ傾け、糸こまの『糸止めカット』を『糸立て棒』の根元側に向け奥まで差し込みます。『糸こま』が飛び出さないように『糸こま押え』でしっかり押えます。
*『糸こま押え』は、糸こまの大きさに合った方をご使用ください。



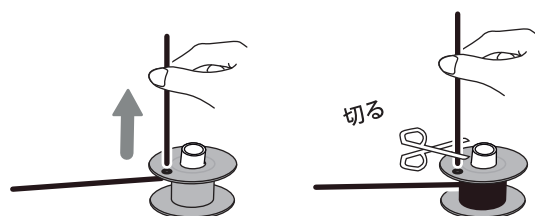
3 反時計回りに一度だけ『下糸巻き案内』の間に巻きつけ、しっかり奥まで糸を掛けます。



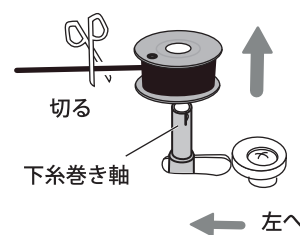
4 『ボビン』の穴に内側から糸を通し、『下糸巻き軸』に『ボビン』をさし『下糸巻き軸』を右に移動させます。



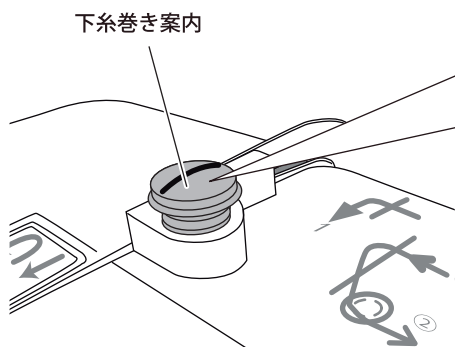
5 『電源スイッチ』を『ON』にし、『スピード調節ツマミ』をゆっくりにします。



6 糸先を持ち、『スタート/ストップボタン』を押し『ボビン』に5～6回転糸を巻き付けます。ミシンを一度止め、持っていた糸を『ボビン』の穴のきわで糸を切ります。

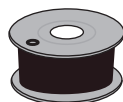


7 再度ミシンをスタートさせ、糸が巻き終わったら『スタート/ストップボタン』を押しミシンを止めます。『下糸巻き軸』を左に戻し、『ボビン』を抜きます。
*『下糸巻き軸』が右にあると、針が上下しません。



*『下糸巻き案内』は回しすぎないように注意してください。

○正しい巻きかた



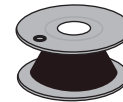
『ボビン』の糸が均一に巻けない際は、
『下糸巻き案内』を下記図の方向へ回してください。

×悪い巻きかた



左記の図のようなになる際は
『下糸巻き案内』を右回り（時計回り）に
回して下さい。

×悪い巻きかた



左記の図のようなになる際は
『下糸巻き案内』を左回り（反時計回り）
に回して下さい。

下糸のセット



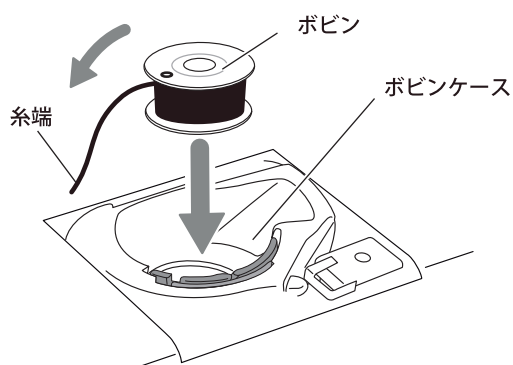
注意



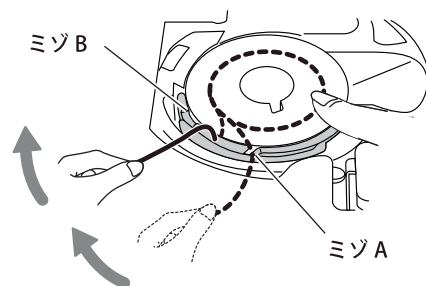
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

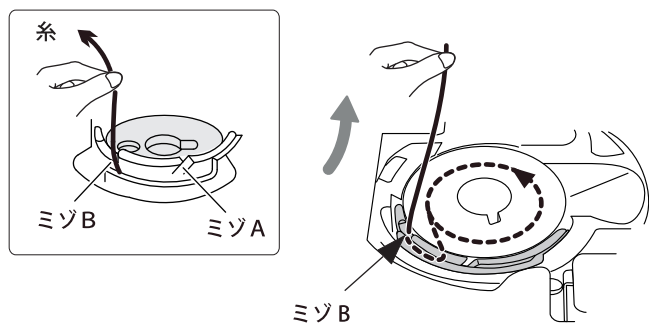


- 1** 『ボビン』から10cmほど糸を引き出し、
『ボビン』の左側から糸が出るように
『ボビン』を『ボビンケース』に入れます。

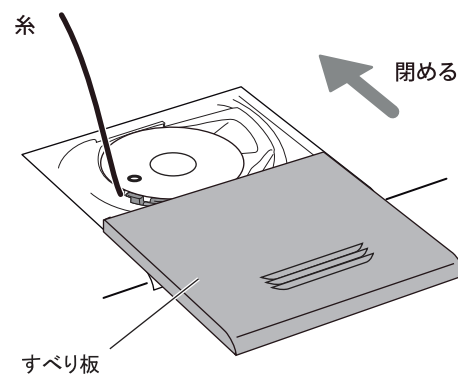


- 2** 引き出した『ボビン』の糸を『ミゾA』に掛け、
『ミゾB』まで左側へ引き出します。

*『ボビンケース』に糸を掛ける際は、『ボビン』が
回転しない様に指で『ボビン』を押さえてください。



- 3** 糸を『ミゾB』にかけ、糸先を向こう側に
10cmほど引き出します。



- 4** 『すべり板』で『ボビンケース』を閉めます。

上糸の掛けかた



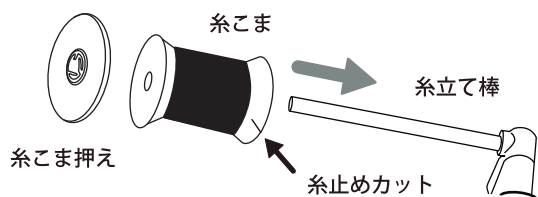
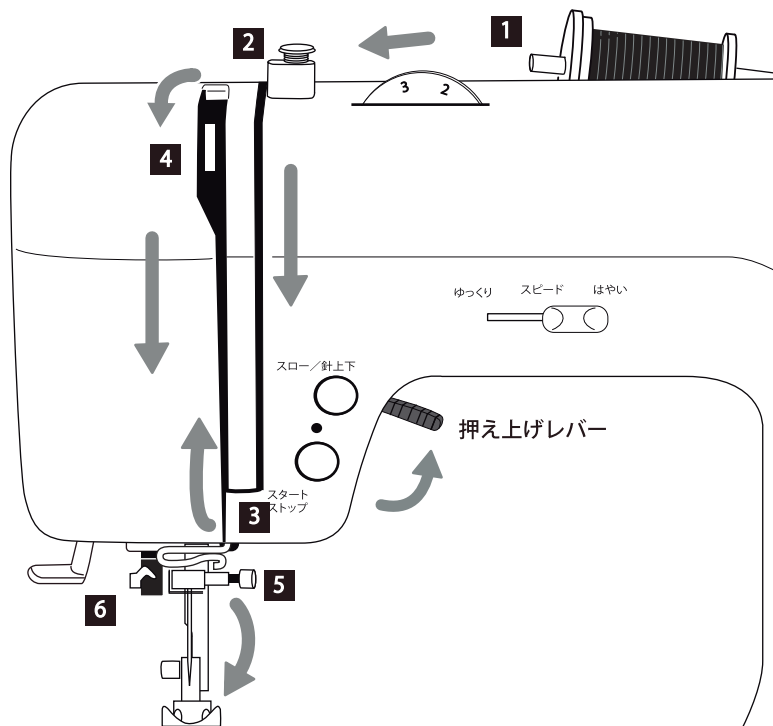
注意



・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかガをする恐れがあります。



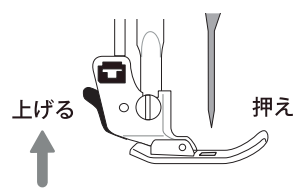
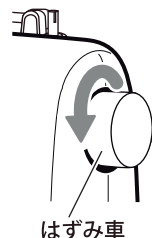
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



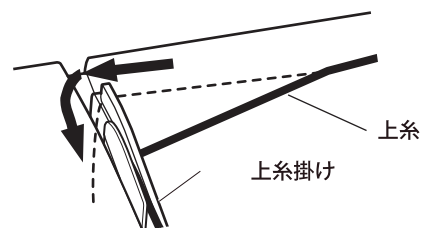
1 『糸立て棒』に糸こま、『糸こま押え』をセットします。(P9 **1** 参照)

準備：ポイント！

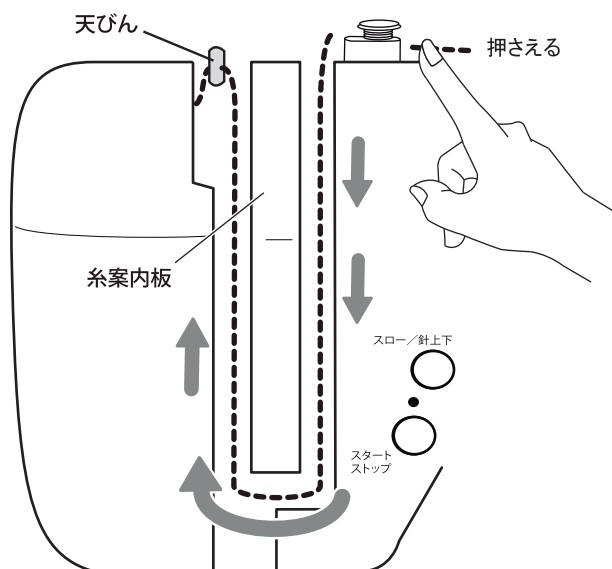
『はずみ車』を手前に回し、
『天びん』を一番上にします。



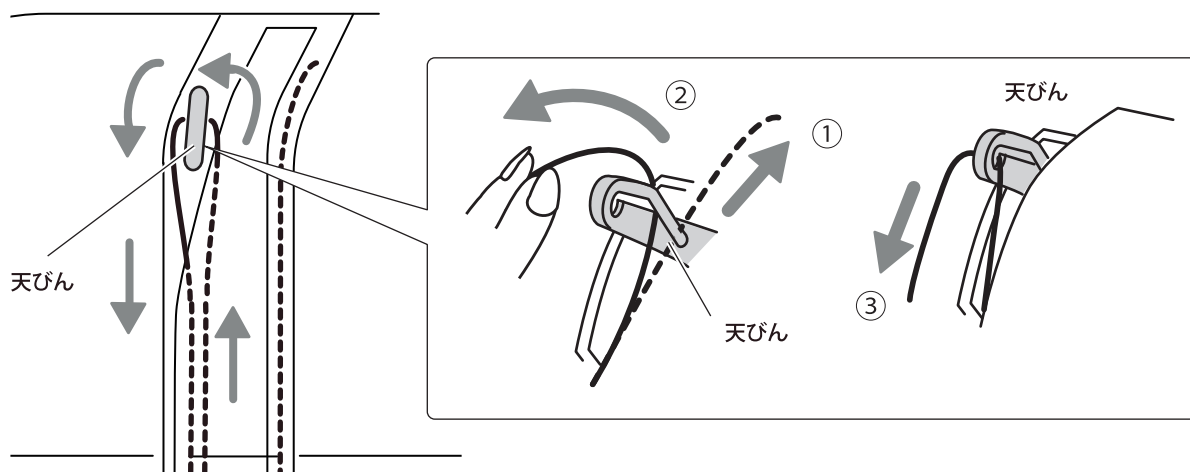
『押え上げレバー』で
『押え』を上げます。



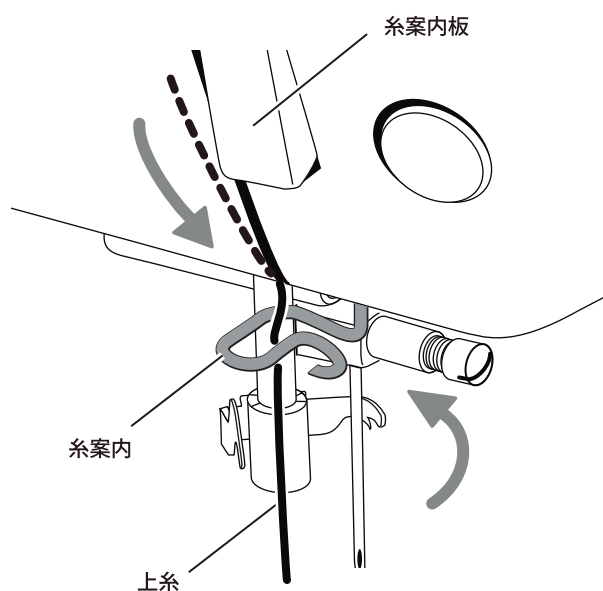
2 『上糸掛け』に糸を掛けます。



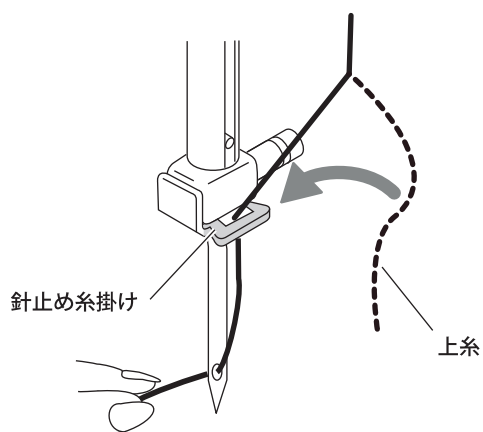
3 上糸を図の位置で手で軽く押え、
上糸を張りながら『糸案内板』にそって、
下まで降ろし左上へ引き上げます。



4 『天びん』に右から左へ上糸を通します。



5 『天びん』から『糸案内板』に沿って上糸を引き下ろし『糸案内』に通します。



6 上糸を『針止め糸掛け』に通し針穴へ通します。

*『針穴糸通し器』は P13 をご参照ください。

針穴糸通し器



注意



・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



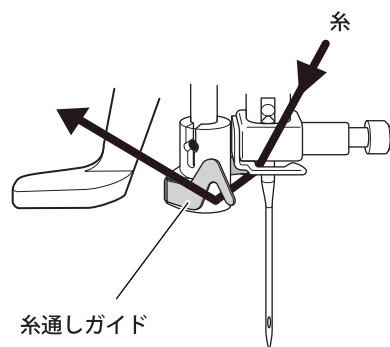
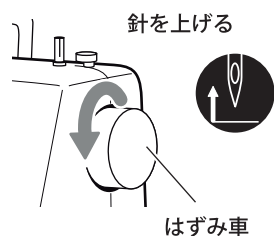
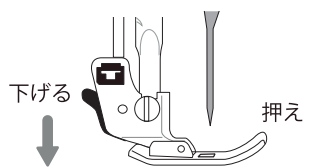
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

注意：針穴糸通し器が破損します。

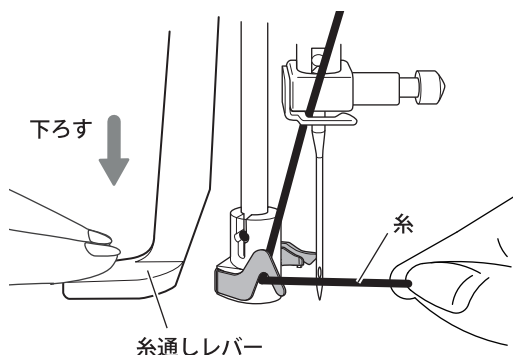


・曲がった針は使用しない。・針の太さ #11 ~ #16 で使用する。・糸の太さは #50 より太い糸には使用出来ません。

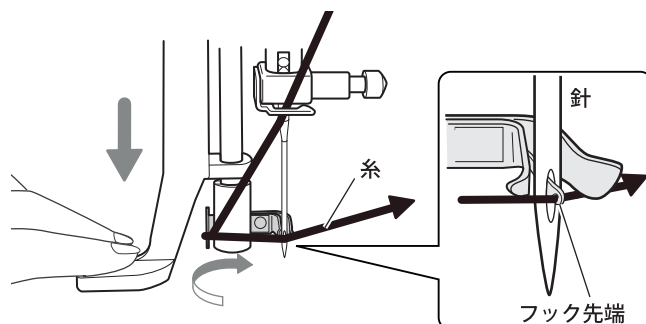
準備：針穴糸通し器が破損します。



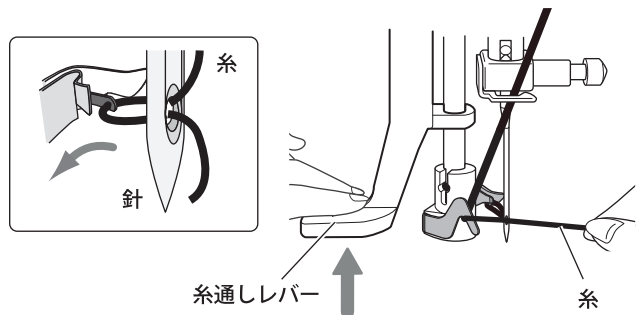
1 右手で糸先を持ち『糸通しガイド』に右下側から上糸を掛けます。



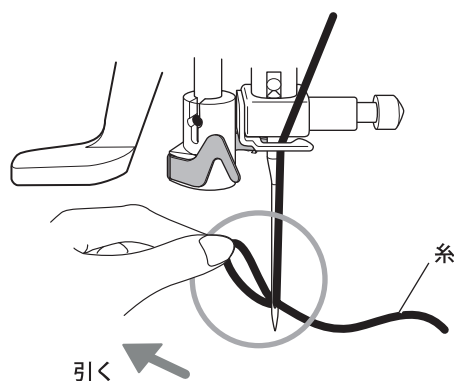
2 糸先を右手で持ったまま、左手で『糸通しレバー』をゆっくり一番下まで下ろします。



3 『糸通しレバー』が下がると、『糸通しフック』が回転し針穴へ『フック先端』が通ります。『糸通しガイド』に掛けた上糸をそのまま右側奥に引っ張り『フック先端』に糸が掛かるようにします。



4 糸先を軽く持ちながら、『糸通しレバー』をゆっくりはなします。



5 針の後方に糸の輪が出来るので針の後ろへ10cmほど引き抜きます。

下糸の引き上げかた



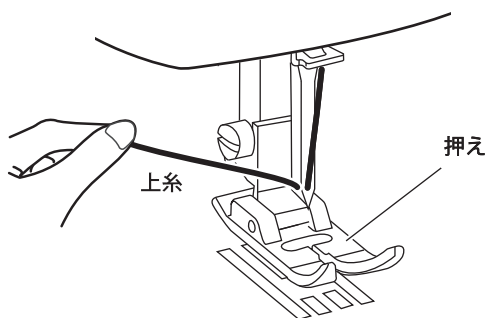
注意



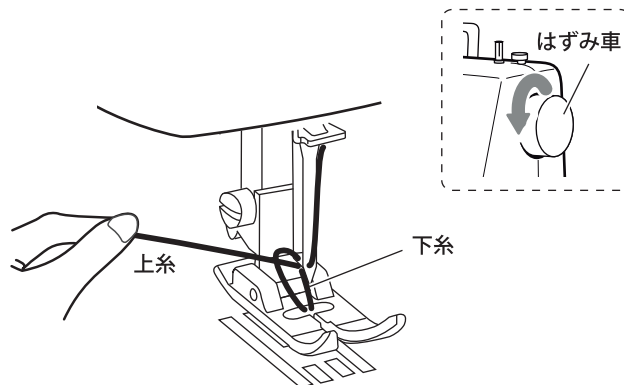
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くケガをする恐れがあります。



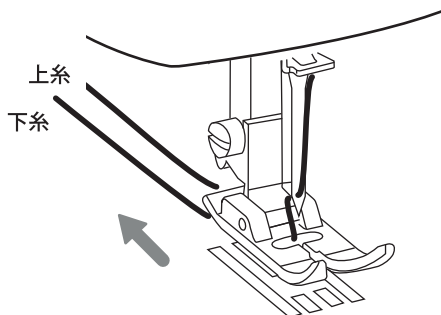
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



1 『押え』を上げ、上糸先を持ちます。



2 『はずみ車』を手前に1回転させ針を上げると、
下糸の輪が引き出されます。
下糸の輪をつまみ、下糸を引き上げます。



3 上糸と下糸をそろえ、『押え』の下へ
10cm ほど引き出します。

模様選択



注意



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



・針が生地に刺さった状態で模様選択ダイヤルを回さない。
ケガをする恐れがあります。

表示											
模様名	直線縫い(中基線)	ジグザグ縫い	直線縫い(左基線)	縁かがり縫い	点線ジグザグ縫い	まつり縫い	ボタンホール縫い	縁かがり縫い	飾り縫い	三重ジグザグ縫い	三重直線縫い
縫い目長さ	1 ~ 4			1 ~ 3				4			

準備

- ・『下糸巻き軸』を左側にします。
(軸が右にあると針が動きません)



- ・『スピード調節ツマミ』を
『ゆっくり』にします。



- ・縫い模様を選択します。



注意

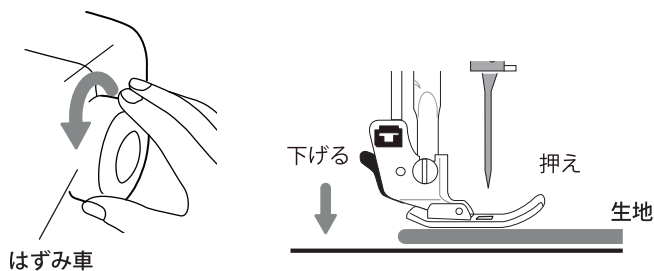
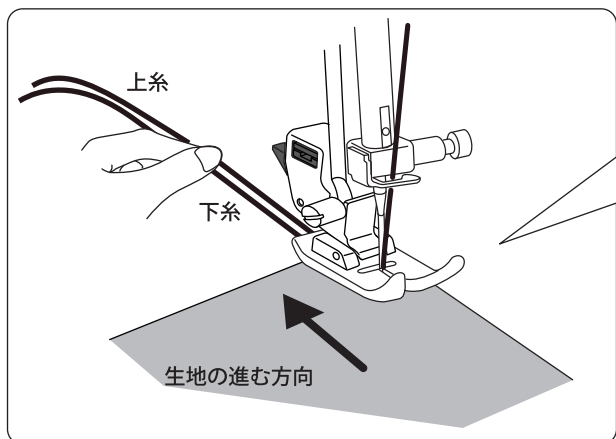


- ・模様選択の際は針を上げる。
針が折れケガをする恐れがあります。



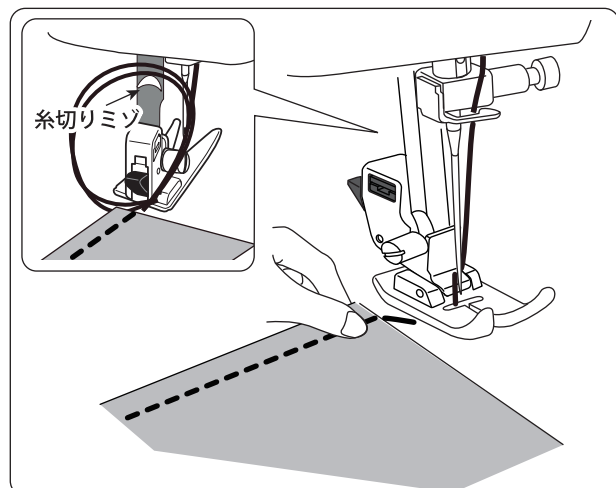
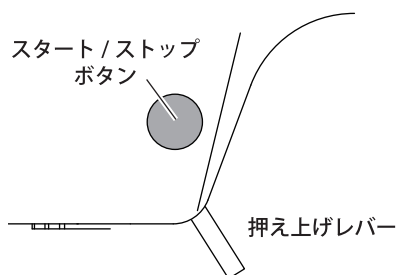
- ・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示	縫い目長さ
 ジグザグ押え	 中基線 左基線	 縫い目長さ



- 1 生地を『押え』の下に置き、『はずみ車』を手前に回して縫い始める位置に針を刺します。
- 2 『押え』を下げます。
- 3 『スタート/ストップボタン』を押し、縫い始めます。
- 4 生地に手を軽くそえ、生地が進む方向を修正・補助します。
- 5 『スタート/ストップボタン』を押し、ミシンを止めます。
- 6 『押え上げレバー』を上げ、生地を引き出します。その後、糸を切ります。

<ミシン正面図>



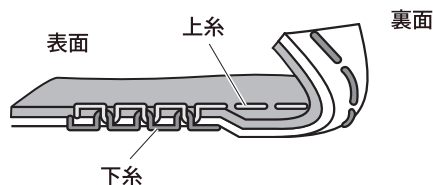
- * 薄地や送りの悪い生地を縫う際は、ハترون紙などの紙を生地の下に敷くとスムーズに縫うことが出来ます。

- * 縫い始めと縫い終わりに『返し縫いボタン』で返し縫いをするるとほつれ止めになります。

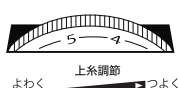
糸調子の合わせかた

糸調子が合わない場合は、『上糸調節ダイヤル』を回し調節してください。

正しい糸調子

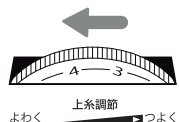
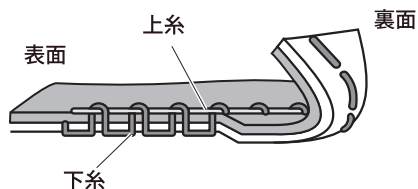


上糸調節ダイヤル



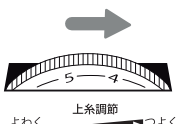
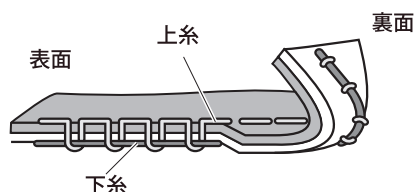
上糸と下糸が生地のほぼ中央で交わります。

上糸が強いとき



下糸が生地の表に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を数字の小さい方へ回します。

上糸が弱いとき



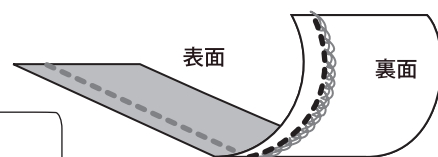
上糸が生地の裏に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を数字の大きい方へ回します。

生地の裏側の糸がタオル地のような際は…

- ・上糸調子が弱い。 ・『押え上げレバー』が上がっている。
- ・『天びん』から上糸が外れている。 ・上糸の掛けかたが間違っている。
- ・糸が太すぎる。(太さ #30 までの太さが使用出来ます。)

ポイント！

『押え』を上げ上糸を全て外し、上糸を再度正しく掛け直してください。(P11.12 参照)
生地と糸の組み合わせをお確かめください。(P22 参照)



返し縫い



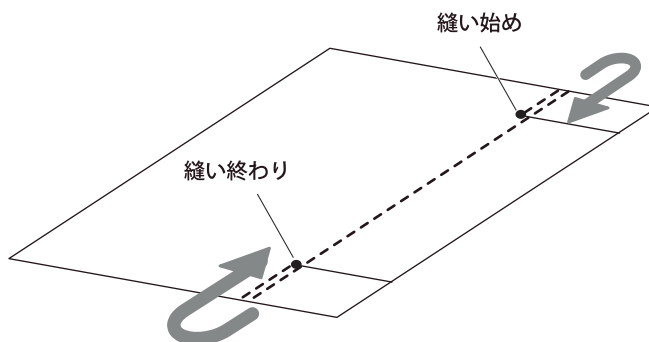
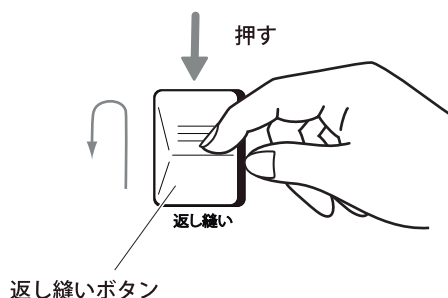
注意



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



・針が生地に刺さった状態で返し縫いボタンを押さない。
ケガをする恐れがあります。



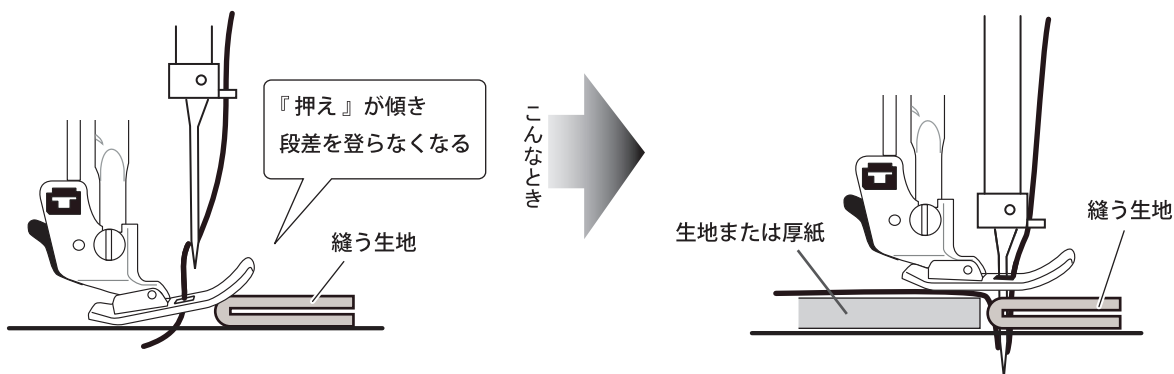
ミシンが動いているときに、『返し縫いボタン』を押している間は返し縫いになり、
『返し縫いボタン』から手を離すとミシンは止まります。

* 縫い始めと縫い終わりに返し縫いを行うとほつれ止めになります。

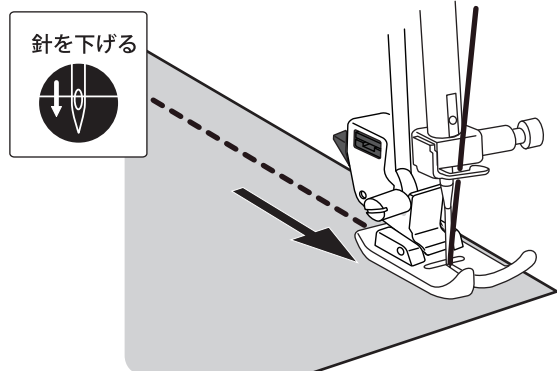
厚地を縫う

縫い始めや段差を縫う際

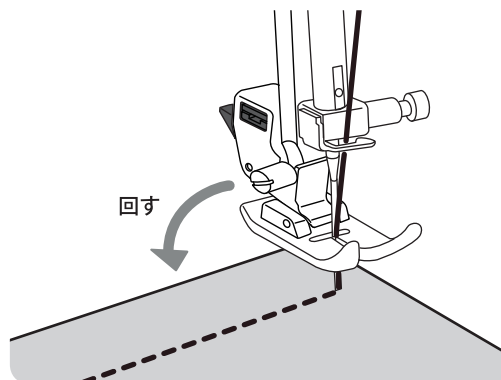
厚地の生地を生地端から縫い始めるときに『押え』が傾き、スムーズに縫えないことがあります。このようなときは、『押え』の下に布と同じ厚さの厚紙などを置き、『押え』の傾きをなくします。



縫い方向を変える



- 1 生地 corner まで縫い、ミシンを停止し『はずみ車』を手前に回し針を下げます。



- 2 『押え』を上げ、針を軸にして生地を回し縫い方向を変えます。再び、『押え』を下げ縫い始めます。

ジグザグ縫い

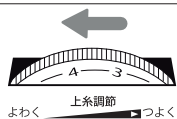


注意



- ・模様選択の際は針を上げる。針が折れケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

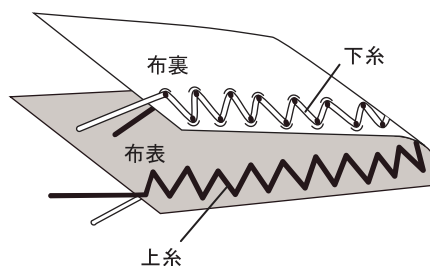
ポイント



直線縫いよりも『上糸調整ダイヤル』をやや弱めにするときれいに縫えます。

押え	模様表示	縫い目長さ
 ジグザグ押え	 ジグザグ	1 ~ 4

- 1 『はずみ車』を回し、針を上 に します。
- 2 『模様選択ダイヤル』を回し、使用するジグザグ模様を4種類のジグザグ模様から選びます。

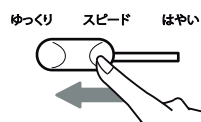


◆ 縁かがり（裁ち目かがり）

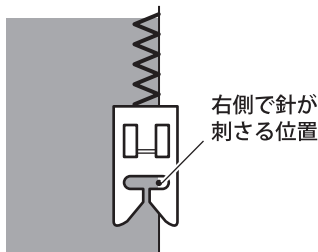
布端がほつれないようにします。布の状態に合ったジグザグ縫いを選びます。

押え	模様表示		縫い目長さ	
			1 2 4	1 2 3
ジグザグ押え	ジグザグ	縁かがり 点線ジグザグ 縁かがり	ジグザグ	縁かがり・点線ジグザグ・縁かがり

ポイント



布端がずれないように、ミシンのスピードを「ゆっくり」にします。

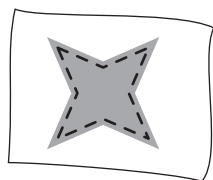


1

『はずみ車』を手前に回して針が右に来た際に、生地端より針が少し外れるように生地を置き、『押え上げレバー』を下げます。

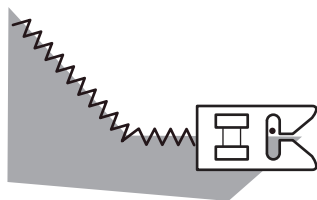
◆ アププリケ

市販や自作のアププリケ布を別生地に縫いつけます。ジグザグ縫いの選択は、形や大きさに応じて選びます。



1

アププリケ布を生地にしつけるか、布用ボンドで軽く止めます。



2

アププリケ布の周りをジグザグ縫いで縫いつけます。

ポイント

縫い方向をかえる際はアププリケ布の外側に針を刺し、『押え上げレバー』を上げて布の方向を変えます。

ゴムテープ付け

袖口などのゴム付けをきれいに縫えます。

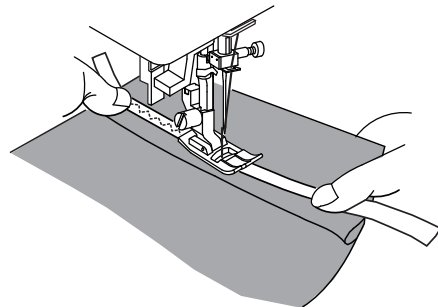
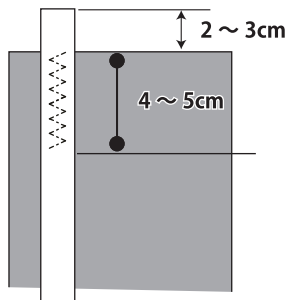


注意



- ・模様選択の際は針を上げる。 針が折れケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示	縫い目長さ
		1 2 3
ジグザグ押え	点線ジグザグ	



1

ゴムテープは用途の長さより4～6cm 長めに切ります。

2

生地に対しゴムテープを2～3cm はみ出し、4～5cm 縫いミシンを止めます。

3

縫い終わり側のゴムテープ端を伸ばして、生地と一緒に押えながら縫います。

（この間、ゴムは伸ばさないでください。）

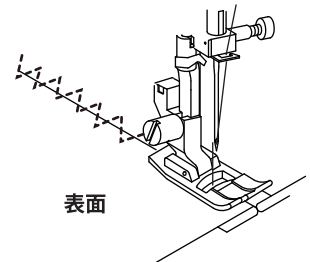
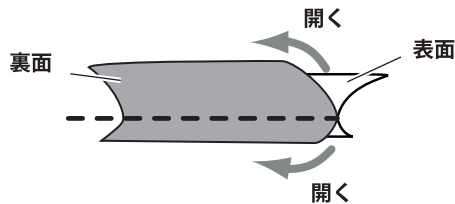
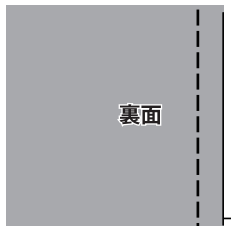
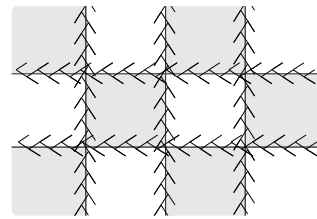


注意



- ・模様選択の際は針を上げる。針が折れケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示	縫い目長さ
	 点線ジグザグ	 ジグザグ押え
	 点線ジグザグ	 飾り



- 2枚の生地を中表にし、直線縫いで縫い合わせます。
- 縫い合わせを開きます。
- 両方の生地に模様がまたがるように縫います。

まつり縫い（ブラインドステッチ）

スカートやズボンの裾上げをする際に用います。
生地の上に目立たない縫い目です。

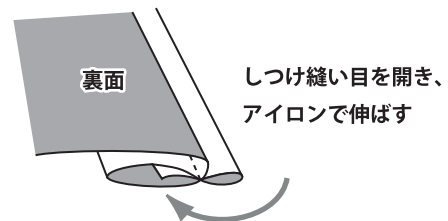
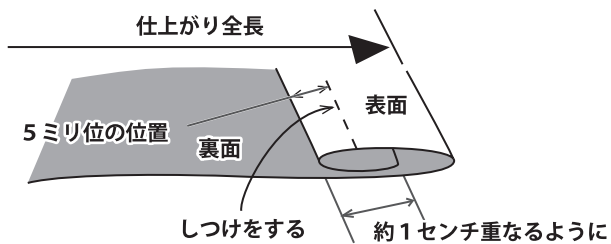
押え	模様表示	縫い目長さ
	 まつり	 1 2 3



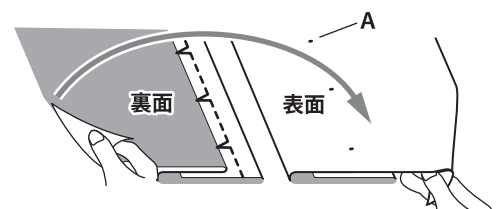
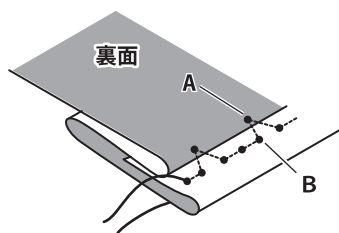
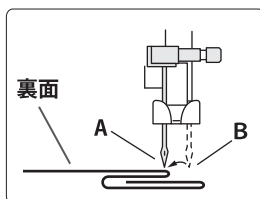
注意



- ・模様選択の際は針を上げる。針が折れケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。



- 生地を図のように折り、しつけをします。
- しつけの所から折り返しアイロンで伸ばします。



- 『はずみ車』を手前に回し針を左側でゆっくり下げ、生地の折り山(A)にわずかに針がかかるよう、生地的位置を合わせて縫います。
(針がかかる量が少ないほど、表面に目立ちにくくなります。
また、生地の折り山に針が掛からないと仕上がりが目飛びをします。)
- 生地を返し、しつけ糸を抜きます。

強化縫い

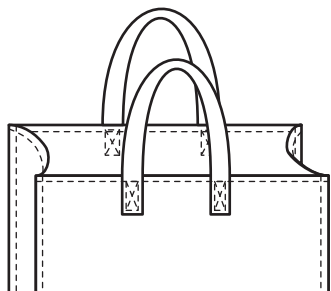
デニムなどの丈夫な布地の縫い合わせに最適です。



注意



- ・模様選択の際は針を上げる。 針が折れケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。



押え	模様表示	縫い目長さ
ジグザグ押え	三重ジグザグ 三重直線	4

ボタンホール縫い

ボタンの大きさにあったボタンホールを縫う事が出来ます。



注意



- ・模様選択の際は針を上げる。 針が折れケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

注意

縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地でボタンホールを作り、ボタンが通るかご確認ください。

ポイント

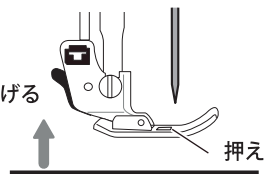
伸縮性の生地や薄い生地は不織布（芯地）を裏に貼るとよりきれいに仕上がります。

準備

針を上げる



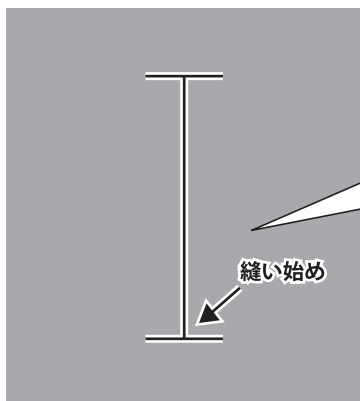
上げる



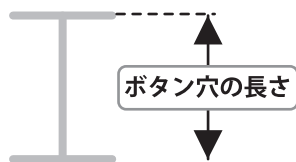
押え

『はずみ車』を手前に回し、針を一番上にします。
『電源スイッチ』を『OFF』にし、『押え上げレバー』を
上げ『押え』を交換します。（交換方法：P7 参照）

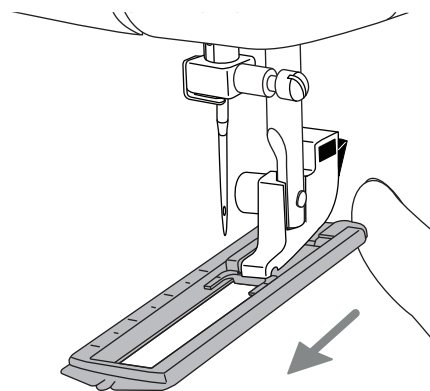
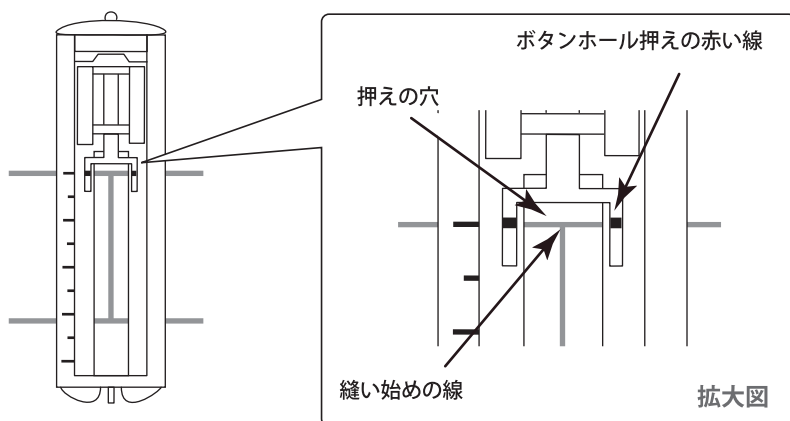
押え	模様表示	縫い目長さ
ボタンホール押え	ボタンホール	



ボタン穴の長さ = ボタンの直径 + 厚み



- 1 ボタンホールを作る生地に印を付けます。
* ボタンの大きさに印を付けておくと、縫う方向を間違えません。

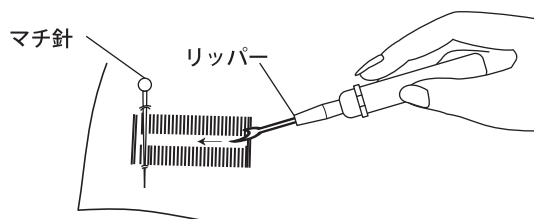


* ボタンホール押えを下げる際は外枠を手前に引いておきます。

- 2** 生地を『ボタンホール押え』の下におき、押えの赤い線を布地の縫い始めの線に合わせ、生地ボタン穴の中心線が『ボタンホール押え』の穴の中央になるようにして『ボタンホール押え』を下げます。

模様	1	2	3	4
縫い方	A から B の位置でミシンを止めます。	5～6 針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。	B から C の位置でミシンを止めます。	5～6 針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。

- 3** 上記の順で『模様選択ダイヤル』を回し、縫っていきます。
* さらに強度のあるボタンホールにする際には、布を動かさずもう一度重ねて縫ってください。



- 4** ボタンホールの穴に付属の『リッパー』を刺し、押しながらボタン穴を切り開きます。
* マチ針をかんぬき部分に刺しておくと、切り開き過ぎを防げます。

針、糸、生地の関係

きれいに縫うためには、生地に合った針と糸をご使用ください。（下記参照）上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。
針は家庭用ミシン針（HA×1）、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。

（工場出荷時、ミシンには 14 番の針が装備されています。）

* 下記の表はあくまで参考ですので、必ず試し縫いを行い縫い目をご確認ください。（針の交換方法は P23 をご参照ください。）

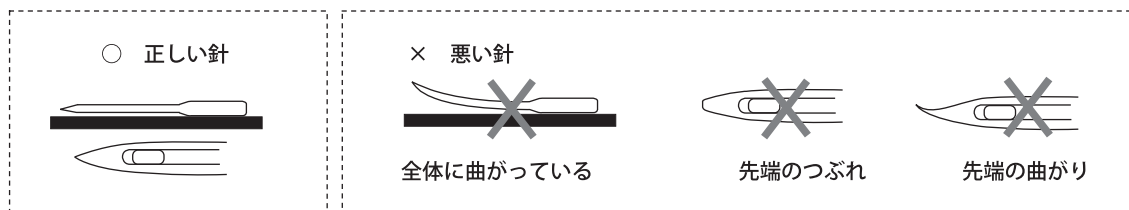
	生地の種類	針の種類・番号	糸の種類・番号
普通地	一般服地、ブロード、ソフトデニム、サテン、パイル、ギンガム など	11、14 番	綿 60 ～ 90 絹 50 ～ 90 化繊糸 60 ～ 90
薄地	一般裏地、ローン、ジョーゼット、レース、キュプラ など	9、11 番	綿 60 ～ 100 絹 50 ～ 90 化繊糸 60 ～ 90
厚地	キルティング、フリース、ツイード、デニム、フェルト など	14、16 番	綿 40 ～ 50 絹 50 化繊糸 30 ～ 60
伸縮地	ニット、トリコット、スパンテックス、ジャージ など	ニット用針 11、14 番	綿 60 化繊糸 50 ～ 90 ニット用糸 50 ～ 90

* 針は数字が大きくなるほど太くなります。

* 糸は数字が大きくなるほど細くなります。

正しい針の選びかた

- ・曲がった針は使わないでください。 ・家庭用ミシン針 (HA×1) をご使用ください。
- ・目飛び・糸絡みがする場合は、ミシンについている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。
- ・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。
新しい針に交換してください。



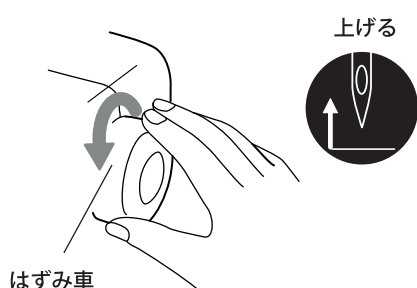
* ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

針の取り替えかた

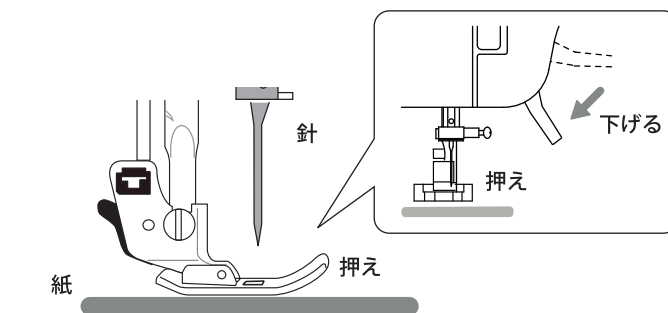


注意

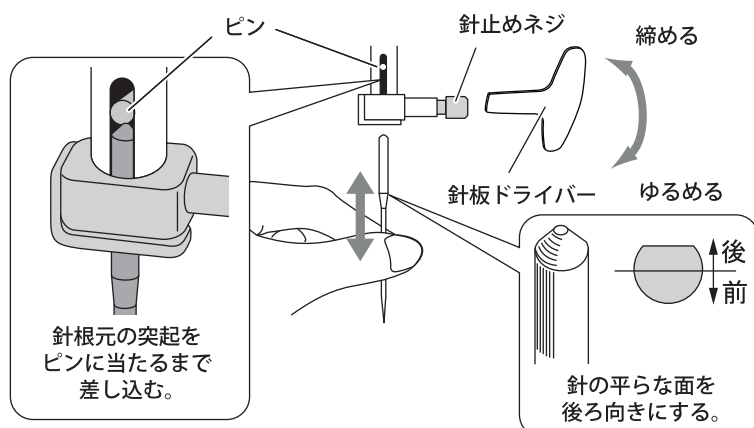
- ・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。
- ・針は平らな面を後ろ向きに付ける。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。また、縫い目が出来ず縫えません。
- ・針を交換する際は専用部品で交換する。
縫っている際に針が抜け、ケガをする恐れがあります。



1 『はずみ車』を手前に回し、針を一番上にします。



2 『押え上げレバー』を上げ、針が穴に落ちないように『押え』の下に生地や紙などを敷き、『押え上げレバー』を下げます。



3 外す : 取り付けられている針を持ち、『針止めネジ』をゆるめ、針を下に引き抜きます。
付ける : 平らな面を自分から見えないように持ち、『ピン』に当たるまで差し込み、『針止めネジ』を締めます。

* ネジを締める際は必ず『針板ドライバー』を使用してください。

ランプ交換



注意



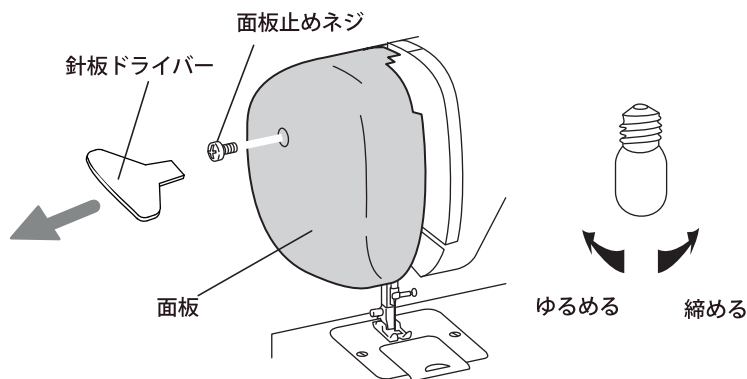
・ランプでの火傷・ケガに注意する。

使用直後ではランプが熱く、やけどをします。十分に冷えてから交換してください。
また、ワレモノのため取り扱いに注意してください。



・電源スイッチを『OFF』にし、電源プラグを抜く。

お手入れ中、スタート/ストップボタンに触れると予期せずミシンが動きだし、手や指が挟まったり、針が刺さったりする恐れがあります。



- 1 『面板止めネジ』を左に回して（反時計回り）外し、『面板』を取り除きます。
- 2 『ランプ』を左に回し（反時計回り）、外します。
- 3 新しい『ランプ』をまっすぐに右に回し、奥まで締めます。
- 4 『面板』を元の位置に合わせ、『面板止めネジ』を右に回し（反時計回り）『面板』を取り付けます。

底ゴムの高さ調節



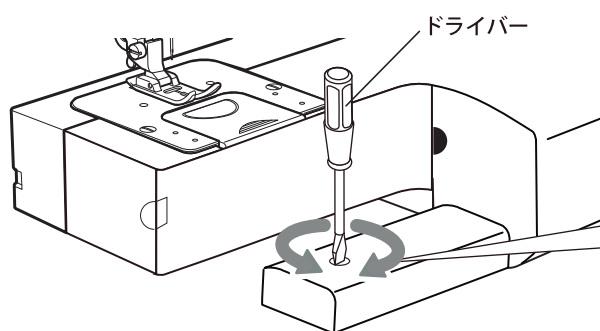
注意



・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとケガをする恐れがあります。



・専用部品でネジを回す。ケガをする恐れがあります。



ミシンを安定した場所に置いて、ミシンがガタつく際は図の様にネジを回し、底ゴムの高さを調節してください。



下げる



上げる

ボビンケースのそうじ

ミシン本体の汚れは、やわらかい生地で乾拭きしてください。
(住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学雑巾は表面の色が変わるため、ご使用しないでください。)



注意



・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとケガをする恐れがあります。

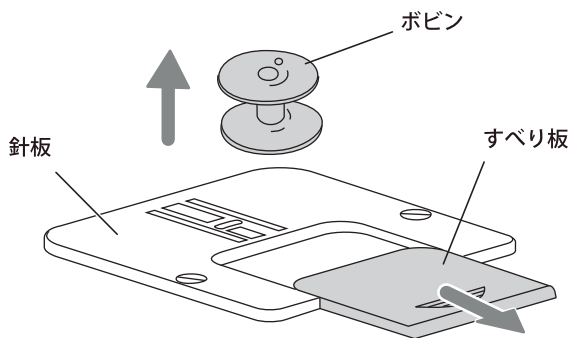


・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

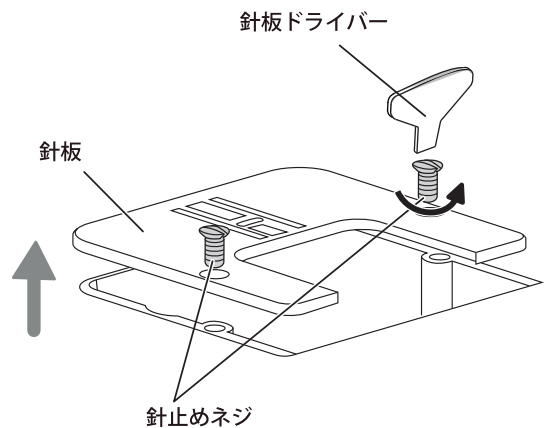
準備



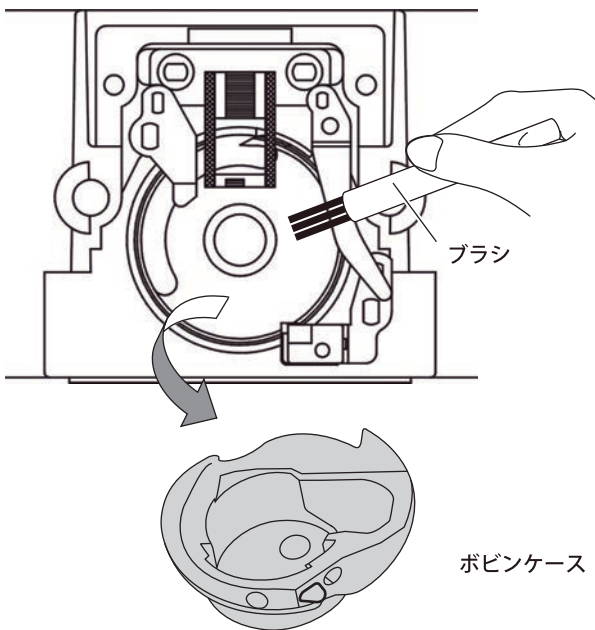
針と押えを外します。



1 『すべり板』を開いて『ボビン』を取り出します。

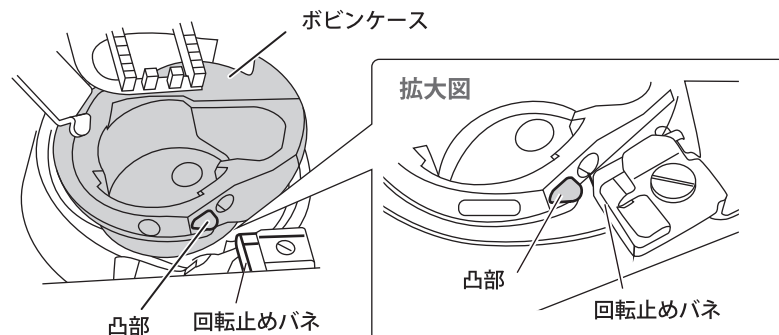


2 『針板止めネジ』をゆるめ、『針板』を外します。



3 『ボビンケース』を手前に引き抜きます。

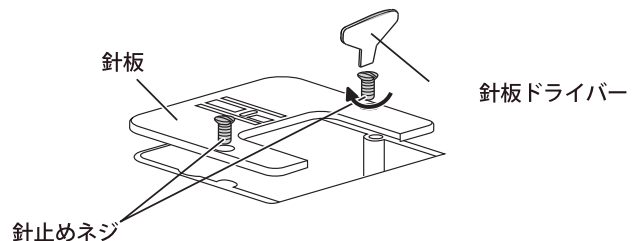
4 『ボビンケース』、『送り歯』のミゾに付いている糸くずやホコリを取り除きます。



5 『ボビンケース』を外がまの中に手前からすべり込ませ、『ボビンケースの凸部』が『回転止めバネ』に接するように水平に入れます。

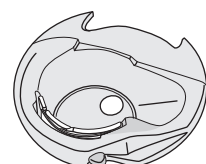
6 『はずみ車』を手前に回し、スムーズに回ることを確かめます。

7 『針板』を取りつけ、『針板止めネジ』2本を締めます。



ボビンケース（下糸）のネジは調整しないでください。

一度調整するとともに戻らなくなります。次に、縫う際に上下糸調子が合わなくなります。



不具合	原因	処理	参照 ページ
上糸が切れる	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	11
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を適度に弱める。	16
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	25
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に取り替える。	23
	針の取り付けかたが間違っている。	針を正しく付け直す。	23
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	22
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。	4
	糸が劣化している。	新しい糸に取り替える。	11
下糸が切れる	下糸の掛けかたが間違っている。	下糸を正しく掛け直す。	10
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。	4
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	25
縫い目がとぶ	針の取り付けかたが間違っている。	正しく針を取り付ける。	23
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に取り替える。	23
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	22
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	11
生地がシワになる	上糸調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。	16
	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸、下糸を正しく掛け直す。	10・11
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	22
生地を送らない	送り歯にホコリが溜まっている。	針板を外し、送り歯を掃除する。	25
	縫い目の長さが布地に合っていない。	縫い目長さ調節ダイヤルで、縫い目長さを調節する。	6
	押えが上がっている。	押えを下げる。	7
	生地を無理に引っばっている。	手は生地にそえるだけにする。	15
ミシンが動かない	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	25
	電源コードプラグの差し込みが不十分。	電源コードプラグをしっかりと差し込む。	8
	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にする。	8
	下糸巻き軸が右になっている。	下糸巻き軸を左にする。	9

不具合	原因	処理	参照 ページ
回転が重く音が高い	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	25
	送り歯にホコリが溜まっている。	針板を外し、送り歯を掃除する。	25
針が折れる	布地を無理に引っばっている。	手は布地にそえるだけにする。	15
	針の付けかたが間違っているか、止めかたがゆるい。	針を正しく付け直す。	23
	布地に対して、針が細すぎる。	布地と糸、針の関係を合わせる。	22
	上糸調子が強すぎる。	適正な強さに調節する。	16
布地の裏側が タオル布のようになる	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	11
	上糸調子ダイヤルが0になっている。	適正な強さに調節する。	16
縫い目に輪ができる	ボビンのセットが間違っている。	ボビンを正しくセットし直す。	10
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	11
	上糸調子が弱すぎる。	適正な強さに調節する。	16
下糸がうまく巻けない	下糸巻き案内の間にきちんと糸がくい込んでいない。	下糸巻き案内の間にしっかり奥まで糸を掛ける。	9
	下糸巻き案内の高さが合っていない。	下糸巻き案内の高さを調節する。	10

これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の磨耗による交換または電気系統の故障が原因となっている可能性があります。ご購入店またはお客様相談係にご相談ください。

サービス工場のご案内

純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場へお申し込みください。

ご購入頂きましたミシンは、購入店または下記の専門工場で点検修理等のサービスを致します。

なお、サービスには有償修理点検と無償修理点検とがあります。購入店またはサービス工場にお問合せください。

※ ミシンを工場へ送付されるときは、このミシンの箱と緩衝材（クッション）をご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5

株式会社 アックス ヤマザキ シンガーミシンサービス係 行き

TEL:06-6717-5851 FAX:06-6741-7875

 フリーダイヤル:0120-30-5854

月～金曜日 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

(土曜/日曜/祝祭日休み)

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

- 1 このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。
内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

- 1 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - ニ ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - ホ 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
- 4 このミシンは持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お願いいたします。

160年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使えるミシンをお届けいたしております。

お問い合わせまたはご相談先（純正部品のご購入方法）

シンガーミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「お客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越してください。

株式会社 シンガーハッピージャパン

「お客様相談係」

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号
TEL. 03-3837-1862 FAX. 03-3837-0072

- * 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。
- * シンガー純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「お客様相談係」におたずねください。

仕様

定格電圧	交流100V
消費電力	70W
周波数	50/60Hz
ランプ	白熱電球/15W
寸法	幅：377mm × 高さ：286mm × 奥：172mm
重量	6.6kg

別売品 <フットコントローラー>



注意



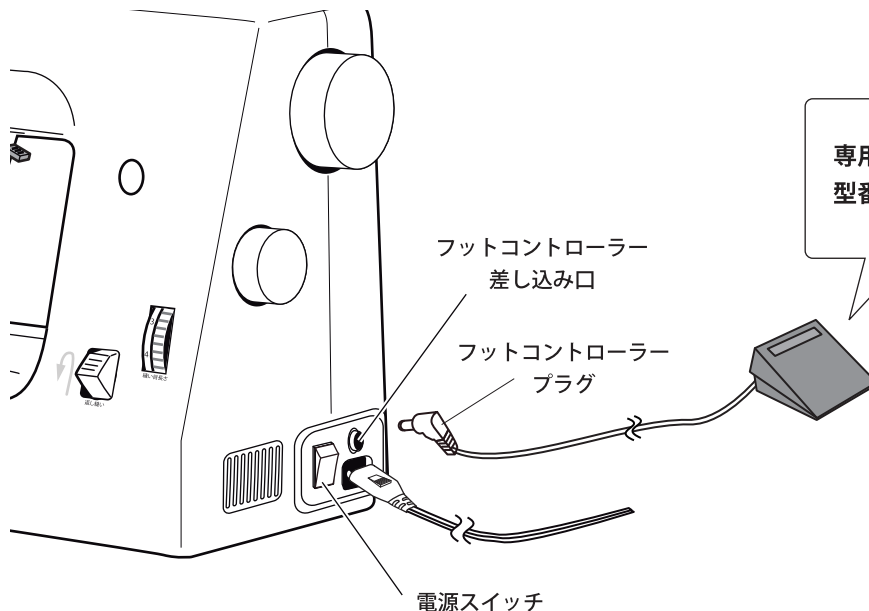
火災・感電・ケガの恐れがあります。



作業が終わったら、フットコントローラープラグを抜く。
フットコントローラープラグの取り扱いに注意してください。



フットコントローラーに物を載せない。



専用フットコントローラー
型番：4 C333BS

- 1 『フットコントローラープラグ』をマシン本体の『フットコントローラー差し込み口』に奥まで確実に差込みます。
- 2 電源コードを接続し、電源スイッチを『ON』にします。
- 3 フットコントローラーを少しずつ踏み込むと、マシンが動き始めます。
- 4 踏み込むほどマシンのスピードが速くなります。
- 5 フットコントローラーから足をはなすとマシンは停止します。

★マシン本体のスピード調節ツマミでフットコントローラーでの最高速度が調節できます。

ポイント

スピードが遅い…



スピード調節ツマミを『はやい』にする。

スピード調節ツマミが『ゆっくり』の位置にあるとフットコントローラーを踏み込んでもスピードは速くなりません。

マシンが動かない…



スタート/ストップボタンでは動きません。

フットコントローラーを接続している際は、スタート/ストップボタンを押しても動きませんが故障ではありません。

MEMO

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.

ミシン保証書

機械本体がお客様の正常な使用状態で万一故障した場合は、下記記載の内容で無料修理を保証します。

型 式	QT-7		機 械 番 号	
* お買上げ日	年 月 日	保 証 期 間	お買上げ日より本体 1年	
* お客様	ご 住 所	〒 TEL		
	フリガナ ご 芳 名	様		
* 販売店	住 所 店 名	〒 (印) TEL		

* 印欄に記入のない場合無効となります。
必ず記入の有無をご確認ください。
もし、記入がない場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

〔保証責任者〕 株式会社 シンガーハッピージャパン

〒110-0016 東京都台東区台東 2 丁目 9 番 5 号
電話 03-3837-1865

●無料修理保証について

1. 無料修理保証期間（ご購入の日から 1 カ年間）内に故障した場合は、無料で故障箇所の修理調整または故障部品の交換をいたします。
2. 無料修理保証は表記ミシン頭部のみとし、ケース、針及び電球を除きます。
3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
4. 無料修理保証をお受けいただくときは、ミシンを購入店へご持参またはご相談ください。

●無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 「使用の手びき」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
2. 浸水、冠水、火災等、天災地変により不調、故障または損傷したとき。
3. ご購入後の移動または輸送によって、不調、故障または損傷したとき。
4. ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
7. この保証書のご提示がなかったとき。
8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
9. この保証書の字句の訂正または書き換え等をしたとき。
10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。

●有料修理について

1. 上記の 1. ～10. に該当する場合、その他有料で修理をするときの費用は、別に定める必要部品代、出張費および技術料の合計額といたします。
2. 無料修理期間中にお客様のご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

●お客様へのお願い

1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客様相談係」等へお問い合わせください。
2. 「使用の手びき」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。